

会議録

作成日 令和7年10月20日

日	令和7年10月20日(金)	時間	13:30~15:30	場所	糸魚川市役所2階 203・204会議室
件名	令和7年度 第1回糸魚川市地域自立支援協議会				
出席者	<p>【出席者】 委員：山田委員、岡尾委員、横澤委員、八木委員、古海委員 櫻井委員、野本委員、岡田委員、小川委員、渡辺委員 事務局：地域生活支援センターこまくさ 内藤管理者 磯貝相談員 福祉事務所 山岸所長、小林係長、飯田係長 二宮主査 八木主査 【欠席者】磯野委員</p>				
	傍聴者定員	一 人	傍聴者数		0人

会議要旨

進行(事務局)

1 開会

要綱の規定により、委員の半数以上の出席であるため、本会は成立。

2 福祉事務所長あいさつ

市政20周年の本年は、大きな節目の年となっており、新たに久保田市長の元、「縮充」を掲げて市政を進めている。これは、人口減少を前向きにとらえ、規模を凝縮させながらも、充実した地域社会の実現を目指すものです。特に医療・福祉・教育分野は充実を図る方針を掲げている。

障害福祉を取り巻く当市の状況は、担い手不足を中心に厳しい状況にありますが、顔の見えるこの関係が糸魚川市の強みと捉えている。本日は、第8期計画に向けた事業実績の評価と、今後のニーズの把握のためのアンケートについて、皆様から、忌憚のないご意見をいただきたい。

3 自己紹介

委員名簿により自己紹介

4 報告・協議事項

(1) 今年度の年度取組について

資料No.1により事務局から説明

(2) 第7期「糸魚川市ささえあいプランの進捗について」

資料No.2により事務局から説明

次頁へ

(委 員) 就労移行支援制度を希望される人よりは、就労継続支援（A型）を利用される方が多い。

一般企業から他の企業へ就労を希望する人は少ない。

(3) 第8期糸魚川市ささえあいプランの策定について

資料No.3、資料No.4により事務局から説明

(事務局) 前回のニーズ調査は、市が独自の調査票を基に、関係団体に聞き取り。今回は、個人に直接送つて回答を得たい。

- (委 員) 回答が難しい方は、どうするのか
- (事 務 局) 家族の方から聞き取りも含め考えている。グループホームに関しては、世話人を通じて回答を得たい。Webでの回答も可能になる。
- (委 員) 調査内容の方向性はよいのではないか。回答者に配慮した調査方法をお願いしたい。職員等のフォローを含めて。
- (委 員) 障害別に何人に回答を求めるのか
- (事 務 局) 身体障害者200人、知的障害者、精神障害者を各100人、小児等の障害者手帳未所持のサービス受給者50人程度を無作為抽出の予定。

(4) 第4次総合計画策定の意見について

資料No.5により事務局から説明

- (委 員) 基幹相談支援センターの体制が整えば窓口が一本化になるのか。
- (事 務 局) 障害者相談支援事業は、現在、相談支援事業所に委託して行っている。相談内容が専門化・高度化しており、保健、医療等へつなぐ役割も重要であることから、総合的・専門的な相談支援体制の強化のため、当市の人的資源を活かした基幹相談支援センターの体制について検討している。すべての窓口が一本化になるわけではないが、対応困難ケース等、幅広い相談を基幹相談支援センターで受けて、必要な機関に繋げることができる。
- (委 員) 移動支援事業について、公共交通機関の充実が求められているが、人材や担い手不足の課題がある。
- (委 員) 日中は、送迎用の車が空いている、ドライバーの確保、他の団体に貸し出すため保険の問題を解決できれば貸し出すことができる。
- (委 員) 市として、各事業所の福祉車両の有効活用等を検討してもらいたい。学校の課外活動でも利用できるようになればいい。
- (事 務 局) 糸魚川市社会福祉協議会のマイクロバスと同じような利用が可能か移動支援部会等で検討、情報を共有していきたい。

(5) 意見交換・情報交換

- (委 員) 福祉避難所について、高田特別支援学校白嶺分校はどうなるのか。指定についての書類や備蓄品について知らされていない。
- (事 務 局) 学校だけ扱いが違うので、確認してお知らせする。

4 その他

事務局より、下記項目について報告

- ・こども療育交通費助成事業
- ・障害者アート展
- ・こころのバリアフリートーク

5 閉会

以上